

1. 金融システム改革などに関する参考文献

- ・「金融システムの再生にむけて」日本銀行銀行論研究会編、有斐閣、2001年（5章）

2. フリー・フェア・グローバルの3原則：「金融システム改革」

- ・ビッグバン：宇宙の始まりとなったとされる大爆発 1986年の英国の証券市場改革の別称に
- ・1996年11月に橋本総理(当時)が提唱：「目標～2001年にはNY、ロンドン並みの国際市場に」
- ・**タイムスケジュールの明確化** + 3原則 + **利用者の視点**

}	Free（市場原理が働く自由な市場に）… 各種規制の緩和（護送船団行政からの決別）
}	Fair（透明で信頼できる市場に）… 行政や制度などの透明性の向上
}	Global（国際的で時代を先取りする市場に）… 日本型金融システム的大幅な見直し

3. 業態間の垣根の低下

- ・**相互乗り入れ** … 証券子会社・信託子会社（業態別子会社）の制限緩和 + 投信などの窓口販売
業態間の競争の激化
- ・業態を超えた合従連衡 … 金融持株会社の解禁、生き残り戦略

4. 扱える金融商品の多様化

- ・銀行での**投資信託販売** … 当初：店舗貸 銀行本体で販売（今や投信の純資産残高の約4割が銀行）
- ・**外為業務の多様化** … 外為法の改正 外為公認銀行・両替商の廃止 + 外貨建て決済等の自由化など
- ・**証券市場の改革** … 手数料の自由化、取引所集中義務の撤廃、免許制 登録制、業務の多角化など
- ・**債権流動化の進展** … 資産担保証券などの法整備

5. メガバンクの登場

- ・**金融持株会社制度**の導入等が契機
- ・合併あるいは持株会社による**統合の進展**（都銀は5Gに再編 近く4G、旧財閥Gを超えた合併も）
- ・統合メリットを活かすための**戦略**（強みを活かす経営、要員・店舗の合理化、シム投資の負担軽減等）
- ・**地域金融機関**にも統合の動き

6. 外資系金融機関の活躍

- ・高度な金融商品企画力（デリバティブの活用、IT技術の活用、高度なリスク管理手法、高い格付け利用等）
- ・人材の流動化（積極的な中途採用、破綻金融機関等からの受入、終身雇用制の見直し？）
- ・国際的な資金移動の窓口（リスクをとる資金の流入＜国内の資金はリスク回避的＞）
- ・プレゼンスの拡大（一部の取引では外資系のシェアが拡大、邦銀・邦証の海外撤退による面も）

7. 日銀法の改正

- ・中央銀行の独立性の高まり（業務命令権・解任権の廃止、政策や業務運営の自主性の尊重等）
- ・アカウントビリティの強化（金融調節等の会議の議事録等の公表、国会への報告および出席等）
- ・政策委員会のメンバー変更（7人＜総裁、大蔵省、経企庁、民間4＞ 9人＜総裁、副総裁2、審議委員6＞）
- ・金融政策決定会合の定例化（日程＜原則月2回＞の事前発表、金融経済月報の公表等）

8. 金融監督庁 金融庁の設立

- ・金融監督庁の設立（1998年6月＜財政と金融の分離：大蔵省から＞、専門家の採用）
- ・金融庁の設立（2000年7月＜金融監督庁と金融企画局の統合＞、01年1月＜金融再生委員会と統合＞）
- ・**検査要員の増強、検査対象の拡大**（例：信用組合も）検査頻度を高める
- ・早期是正措置、金融検査マニュアルなど透明性の高い行政手法 + 金融再生プログラム(02年10月)

9. 会計ビッグバン

- ・連結決算の重視 + 時価会計の導入 + 退職金給付会計の見直し
- ・税効果会計の導入

以上